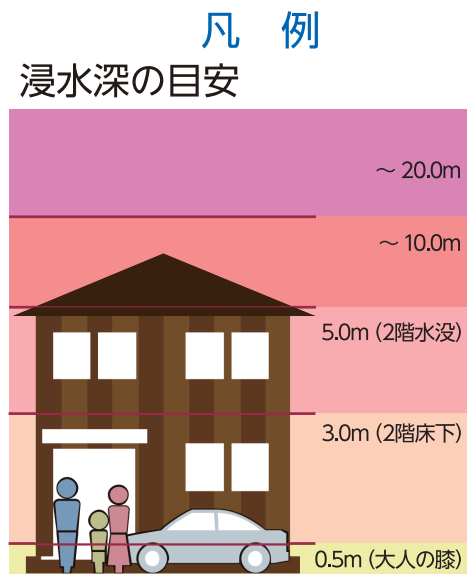


洪水ハザードマップの見方

洪水ハザードマップには、想定し得る最大規模の降雨によって河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域と浸水した場合に想定される浸水深を示します。ただし、降雨の規模や降り方によって、浸水が想定されていない区域でも浸水したり、想定される水深が実際の浸水深と異なることがあります。

浸水想定区域図の凡例



- 凡例
- 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
 - 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
 - 早期の立退き避難が必要な区域

浸水継続時間の凡例

- 凡例
- ~ 12 時間
 - 12 時間 ~ 24 時間 (1日間)
 - 24 時間 ~ 72 時間 (3日間)
 - 72 時間 ~ 168 時間 (1週間)

避難所等の凡例

- 凡例
- 指定避難所
 - 福祉避難所
 - 要配慮者利用施設

- 凡例
- 市役所
 - 警察署
 - 消防署
 - 医療機関

早期の立退き避難が必要な区域

想定される浸水深が3m以上の場合、家屋の2階以上に避難できたとしても、孤立するおそれがあります。また、河川の近くでは、氾濫した水の流れや河岸の侵食により家屋が倒壊したり押し流されたりする危険があります。このような区域を「早期の立退き避難が必要な区域」として地図上に示しています。

※ただし、氾濫が既に開始している場合など、指定緊急避難場所へ移動することにより、かえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所への避難が必要になります。

さらに、外出することすら危険な場合には、屋内安全確保が必要になります。